

第69回 獣医学セミナー

イヌのガンに対する新規 抗体医薬の確立

水野 拓也 先生
(獣医臨床病理学)

2018年 4月25日 (水) 16:00-17:00
本館2階 大会議室

イヌにおいても、人と同様、ガンの発生は非常に多く、3分の1以上のイヌがガンで亡くなっている。ガンに対する治療法として3大療法(外科手術、放射線療法、化学療法)に加えて、抗体医薬をはじめとした分子標的療法が医療において臨床応用されるようになってから、ガンの種類によっては大幅な予後の改善が見られるようになった。一方、イヌにおいてはガンに対する抗体医薬は世界的に1つも承認されたものは存在せず、現在でも3大療法を中心とした治療が行われているのみであり、大きな予後の改善は認められていない。我々の研究室では以前より犬の抗体医薬を確立することを目的に、様々な犬のガン治療に応用可能なモノクローナル抗体を作製してきた。その一部は抗体医薬として臨床応用できる準備がおわり、昨年からは臨床試験を始めたところである。本セミナーでは、本研究室において抗体医薬を臨床応用するまでのプロセスおよびその戦略性について紹介するとともに、今後の展開について検討したい。

★飲み物・おやつを用意します(回青橙の会後援)。
教員・学生の積極的な参加をお願いします!★

連絡先: 柳田哲矢 (5914)
島田 緑 (5909)

